

松崎町新型コロナウイルス感染症対策本部会議（10回目）

次 第

日時：令和2年11月19日（木）

午後4時00分～

場所：環境改善センター 研修室

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 題

（1）新型コロナウイルス感染症の状況について

（2）新型コロナウイルス対策の徹底について

（3）意見交換

4. その他

5. 閉 会

令和2年11月18日（水）13:00 知事記者会見

静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部

〔 危機管理部危機政策課
健康福祉部疾病対策課 〕

静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部 第14回本部員会議の結果報告

- 本日、本県の新型コロナウイルスの感染者が75人と過去最高を更新し、明らかに感染フェーズが変わりつつあり、静岡県感染症対策専門家会議の先生方から本県の感染流行期を「感染移行期・後期」から「感染まん延期・前期」に移行すべきとの御助言を賜りました。
- これを踏まえ、急遽、静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部の各本部員の意見を聞いた上で、本部長である私が、本県の感染流行期を「感染まん延期・前期」とすることを判断致しました。
- 対策本部では、検査体制や医療提供体制の確保に最優先で取り組みますとともに、感染拡大防止と医療崩壊を防ぐために、県民の皆様、事業者の皆様の御協力を得ながら、全力で感染防止対策に取り組んでまいります。
- 具体的な対策としては、検査体制の拡充を図るため、クラスターが発生したり、感染が拡大している地域について、新たに東部保健所等に導入した抗原定量検査機器も活用するなどにより、感染拡大地域における広範囲な検査や福祉施設での一斉検査を実施し、クラスターを早期に封じ込めます。今後とも、両政令市や各市町と連携して、感染拡大防止に全力で取り組んでまいります。
- 医療提供体制の確保につきましては、既に300床の入院病床と宿泊療養施設379室を確保しており、今後の感染拡大を踏まえ、すみやかに入院病床の拡充に取り組めます。
- 県民の皆様、本県は新型コロナウイルスの第3波の渦中にあり、感染拡大を抑止できるか、まさに最大の危機的局面にあります。

(パネル掲出)

- 社会や医療を守るため、一人ひとりの感染防止の徹底を改めてお願いします。「外出時や会話時のマスクの着用」、「こまめな手洗いの徹底」、「人と人との距離の確保」、「適切な換気の実施」を徹底してください。

- 施設や事業所では、クラスターを発生させない感染防止対策の徹底をお願いします。接待や歌唱を伴う飲食店、学校、事業所、福祉施設、医療施設などで発生したクラスターの原因は、遵守すべき感染防止対策が不十分であったことが主な原因です。施設、業種ごとの感染防止ガイドラインを再度点検、徹底いただきますとともに、店舗、職場の小まめな換気や接触確認アプリCOCOAの活用をお願いします。

- 今後、年末年始に向け、酒席や人の移動には注意を徹底してください。年末年始は人の移動が集中し、「密」になりがちのため、帰省や旅行の分散に協力いただき、各企業におきましても、休暇の分散取得への配慮をお願いいたします。
その上で、注意力低下や気の緩みにより、感染リスクが高まる「5つの場面」について御注意をお願いします。
 - ① 飲酒を伴う懇親会等
 - ② 大人数や長時間におよぶ飲食
 - ③ マスクなしでの会話
 - ④ 狭い空間での共同生活
 - ⑤ 仕事から休憩室、喫煙所、更衣室等への居場所の切り替わりの5つの場面です。

- 会食の際には、「飲酒は少人数・短時間で」、「席の配置は斜め向かいに」、「ガイドラインを遵守したお店で」など、感染リスクを減らす工夫をしてください。特に、政府からは、5人以上の飲食は大声になりがちとの見解が出ており、大人数の会食など感染リスクの高い行動を避けるようお願いいたします。

- 本日、警戒レベルを併せて発表いたします。警戒レベルは4、県内警戒、県外警戒です。北海道、東京、愛知、大阪、沖縄など、人口集中地域を中心に感染が拡大しておりますので、移動に際しては、訪問先の感染状況を確認の上、慎重な行動をお願いします。

- 今が、まさに正念場です。ここで感染拡大を抑制できるかは、県民の皆様一人ひとりの行動にかかっております。感染防止行動を切に申し上げます。

11月18日（水）現在は「警戒レベル4（県内警戒、県外警戒）」です。

（政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会による感染段階・ステージII相当）

本県では、浜松市や静岡市等でクラスターが発生し、感染拡大が進行しており、感染流行期が「感染移行期・後期」から「感染まん延期・前期」に移行しました。感染経路不明者数が増加し、市中に見えない感染者がいる可能性があることから、細心の注意が必要です。

東京都、愛知県、大阪府などの大都市地域や沖縄県のほか、全国で、多人数の会食やマスク非着用での歌唱などの感染リスクの高い行為により、クラスターが発生しております。

北海道は、感染拡大に伴い、感染リスクが回避できない場合は、札幌市との往来を自粛いただくとともに、札幌市以外の訪問に際しても、最大限の感染防止行動をお願いします。

今後とも、県民の皆様一丸となって、感染防止を徹底しましょう。以下のような行動を心がけていただくようお願いいたします。

静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部

【11月19日（木）以降】県境を跨ぐ不要不急の移動制限

【凡例】県境を跨ぐ不要不急の移動制限

注意して訪問可（中央4県地域）
注意して訪問可
慎重に行動
特に慎重に行動
旧特定警戒都道府県

北海道では、札幌市の繁华街等で感染が拡大しており、感染リスクが回避できない場合は、札幌市との往来を自粛してください。

静岡県内では、マスク非着用での歌唱や大声での会話などの感染リスクの高い行為により、クラスターが発生したことから、このような行為は、厳に回避してください。

東京都、愛知県、大阪府等の大都市地域や北海道、沖縄県など感染拡大地域には、市中に見えない感染者がいる可能性があります。多人数の会食やマスク非着用での歌唱、大声での会話などの感染リスクの高い行為のほか、感染防止対策が不徹底な店舗等を回避し、「新しい生活様式」を徹底して下さい！

次回発表予定日

11月27日（金）

- ◎ **新型コロナウイルスに感染しないためには、見えない感染者（※）に、「近づく可能性をどうすれば減らすことができるか」「知らずに会っても、うつらないようにできるか」が、大切です。**
- ◎ **県内では、多人数の会食の際のマスク非着用などによりクラスターが発生しています。市中に見えない感染者がいる可能性もありますので、常に感染防止対策をお願いします。**
- ◎ **東京都、愛知県、大阪府等の大都市地域や北海道、沖縄県など感染拡大地域には、市中に見えない感染者がいる可能性があります。多人数の会食やマスク非着用での歌唱、大声での会話等の感染リスクの高い行為、感染防止対策が不徹底な店舗等を回避し、「新しい生活様式」による自衛措置を徹底してください。**
- ◎ **感染状況は地域で異なるので、訪問先又は来訪者の地域ごと行動を変えてください。**

◎県内移動に関する行動制限

- 「三つの密」を回避するなど、「新しい生活様式」（別添）を徹底し、慎重に行動してください。
- 静岡県内では、マスク非着用での歌唱や大声での会話などの感染リスクの高い行為により、クラスターが発生しており、この様な行為は、**厳に回避してください。**
- 訪問先の施設で、**感染防止対策が十分行われているかは訪問前に必ず確認してください。**対策が不十分な店への訪問については、**慎重に検討**してください。

◎県境を跨ぐ不要不急の移動に関する行動制限

1 本県を出発する皆様へ

（静岡県の独自の評価によるものであり、外出の検討にあたっては、訪問先の県等が発表している行動制限を尊重してください。）

- (1) **全ての外出について、「新しい生活様式」を徹底し、自分や相手が感染しているかもしれないという意識を持って、注意して行動**してください。
- (2) 北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、沖縄県への移動については、**特に慎重に行動**してください。
北海道では、感染リスクが回避できない場合、札幌市との往來を自粛して下さい。
- (3) 茨城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、京都府、熊本県への移動については、**慎重に行動**してください。

※訪問の際は、訪問地域の感染状況を把握し、訪問目的などを十分御検討ください。「新しい生活様式」を徹底した上で、事前の行動計画の策定により滞在時間の短縮や電車の混雑の回避などに努めるとともに、多人数の会食やマスク非着用での歌唱、大声での会話などの感染リスクの高い行為のほか、感染防止対策が不徹底な店舗等を回避するなど、最大限の感染予防行動をお願いします。

- (4) その他の県への訪問は、「新しい生活様式」など感染予防行動を徹底した上で、注意して訪問をお願いします。長距離での移動は感染リスクを高めるほか、これまで感染状況が少ない地域でも、急に感染が拡大している所があるため、訪問先の感染状況や経由地に御留意ください。

2 本県を訪問される皆様へ

（帰省する方、訪問者には、県民の皆様からも呼びかけてください。）

- (1) **移動に際しての交通手段や移動の際の「新しい生活様式」に基づく行動の徹底に配慮**してください。
- (2) 北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、沖縄県の皆様は、訪問の際には、**特に慎重な行動**をお願いします。
- (3) 茨城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、京都府、熊本県の皆様は、訪問の際には、**慎重に行動**してください。

※御自身の体調管理に留意の上、無理な移動は回避し、来訪の際には、自身や相手がか感染しているかもしれないという視点に立ち、感染しない・させないよう「新しい生活様式」の徹底等の感染予防行動をお願いします。

- (4) その他の県からの来訪は、長距離移動による感染リスクや経由地に御留意いただき、注意して訪問をお願いします。
- (5) 県民の皆様には、**他都道府県から訪問される方が、既に感染しているかもしれないという意識をお持ちいただき、「新しい生活様式」の徹底のほか、「三つの密」が重なる場所に行かない、作らないなど、感染予防対策の徹底**をお願いします。

※見えない感染者：感染していても無症状や軽症で、自分が感染していることに気付いていない人。
発症前2日前から感染力があるなど、本人が知らないまま、他人に感染させてしまうリスクがある。

厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールしましょう！

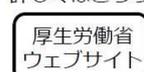
iPhoneの方はこちら



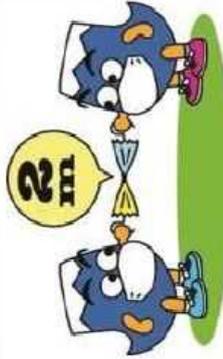
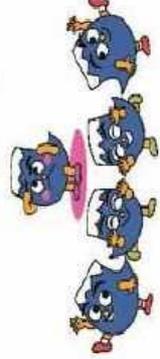
Androidの方はこちら



詳しくはこちら



「新しい生活様式」実践例(抜粋)

<p>感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い</p> 			<p>公共交通機関の利用</p> 
<p>◆人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける</p>	<p>◆外出時、屋内でも会話するとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスク着用</p>	<p>◆家に帰ったら手や顔を洗う</p>	<p>◆会話は控えめに ◆混んでいる時間帯は避ける</p>
<p>娯楽、スポーツ等</p> 	<p>食事</p> 	<p>イベント等への参加</p> 	<p>働き方</p> 
<p>◆公園はすいた時間、場所を選ぶ ◆ジョギングは少人数で</p>	<p>◆大皿を避けて、料理は個々に ◆持ち帰りや出前、デリバリーを利用</p>	<p>◆接触確認アプリの活用を ◆発熱・風邪症状がある場合には参加しない</p>	<p>◆テレワークやローテーション勤務・時差出勤 ◆会議はオンライン</p>

<静岡県新型コロナウイルス感染症対策>

「6段階警戒レベル」と「レベル毎の行動制限」の変更点

時期	前回 (11/14~11/20)	今回 (11/18~11/27)
レベル	警戒レベル4 (県内警戒、県外警戒)	変更なし
県内移動に関する行動制限	本県では、マスク非着用での歌唱や大声での会話などの感染リスクの高い行為により、クラスターが発生しており、このような行為を厳に回避するように呼び掛け	変更なし
県境を跨ぐ不要不急の移動に関する行動制限	<本県を出発>	
	特に慎重に行動	北海道、東京都、愛知県、大阪府、沖縄県
	慎重に行動	青森県、宮城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、京都府、兵庫県、奈良県
	注意して訪問可	その他の県
	<本県を訪問>	
	特に慎重に行動	北海道、東京都、愛知県、大阪府、沖縄県
慎重に行動	青森県、宮城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、京都府、兵庫県、奈良県	
注意して訪問可	その他の県	
<本県を出発>		<本県を出発>
特に慎重に行動	北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、沖縄県	北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、沖縄県
慎重に行動	茨城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、京都府、熊本県	茨城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、京都府、熊本県
注意して訪問可	その他の県	その他の県
<本県を訪問>		<本県を訪問>
特に慎重に行動	北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、沖縄県	北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、沖縄県
慎重に行動	茨城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、京都府、熊本県	茨城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、京都府、熊本県
注意して訪問可	その他の県	その他の県

- <変更点等>
- 宮城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、兵庫県、奈良県を、「慎重に行動」から、「特に慎重に行動」に変更。
 - 茨城県、山梨県、岐阜県、滋賀県、熊本県を、「注意して訪問可」から、「慎重に行動」に変更。
 - 青森県を、「慎重に行動」から、「注意して訪問可」に変更。
 - 東京都、愛知県、大阪府等の大都市地域、沖縄県など感染拡大地域との交流について、最大限の感染防止対策を講じるよう呼び掛ける。
 - 北海道では、引き続き、札幌市内での飲酒を伴う場面などでは、感染リスクを回避する行動の徹底をお願いする。
<長時間の飲酒を避ける、大声で話さない、食事中以外はマスクを着用する>
すすきの地区では、22時から翌5時までの間、酒類を提供する施設の利用を控えていただくようお願いする。
 - それ以外の地域では、急に感染が拡大する場合があることから、訪問前に現地情報を収集し、感染防止のための自衛措置を徹底いただくようお願いする。

(※県内各市町ごとの累計陽性者数は、市町の要望を踏まえ添付しております。)

陽性者数 市町別マップ

陽性者数累計値 (令和2年11月17日現在)



保健所名	市町名	陽性者数
賀茂	計	11人
	下田市	2人
	東伊豆町	2人
	河津町	-
	南伊豆町	4人
	松崎町	1人
	西伊豆町	-
	非公開	2人
熱海	計	55人
	熱海市	40人
	伊東市	14人
	非公開	1人
東部	計	96人
	沼津市	13人
	三島市	4人
	裾野市	2人
	伊豆市	3人
	伊豆の国市	39人
	函南町	4人
	清水町	5人
	長泉町	5人
	非公開	21人
御殿場	計	19人
	御殿場市	6人
	小山町	4人
非公開	9人	

保健所名	市町名	陽性者数
富士	計	56人
	富士市	30人
	富士宮市	25人
	非公開	1人
静岡市	静岡市	177人
中部	計	37人
	島田市	8人
	焼津市	8人
	藤枝市	15人
	牧之原市	4人
	吉田町	1人
	川根本町	-
非公開	1人	
西部	計	71人
	磐田市	20人
	掛川市	17人
	袋井市	8人
	御前崎市	3人
	菊川市	3人
	湖西市	8人
	森町	1人
	非公開	11人
	浜松市	浜松市
その他	県外・非公開・調査中	41人

総計 909人

「6段階警戒 レベル」と「レベル毎の行動制限」(新型コロナウイルス感染症対策)

(令和2年11月)

レベル	本県の警戒レベル			国警戒 ステージ	基本的行動内容					
	県内	県外	国外		県内評価	県内移動に関する行動制限	県外評価	県境を跨ぐ移動に関する行動制限	国際評価	
6	【都市封鎖級】			国外は警戒以上	IV	感染まん延期 後期	外出禁止や休業の要請など	感染移行期 以上 (感染状況が 厳しい地域の 状況等を評価)	禁止の要請など	多数又は複数 の国・地域に おいて感染が 拡がっている
5	【特別警戒】				III	感染まん延期 中期	県内の感染状況を踏まえた不要不急の外出 自粛や営業時間短縮の要請を含む必要な行 動制限など		自粛の要請など	
4	【警戒】	【警戒】	II 相当		感染まん延期 前期	施設での感染防止対策を徹底 感染リスクの高い行為を回避 必要に応じて訪問自粛などの行動制限	感染移行期 後期		県内者の県外への移動及び県外者の県内へ の移動については対象地域に応じて行動制 限・注意を要請 (注1)	
					感染移行期 前期					
3	【注意】 【一部警戒】	【警戒】	I 相当		感染移行期 前期	3密の回避を含む「新しい生活様式」の徹 底	感染限定期		感染限定期	
	【注意】				【注意】					
2	【ほぼ日常】	【注意】	感染休止期	3密を極力回避。基本的な感染対策 (注 2) の励行など「新しい生活様式」を心が ける。感染弱者へ配慮	3密をできる限り回避。基本的な感染対策 (注2) の励行。感染弱者へ配慮	感染限定期	感染休止期	県境を越える移動可。ただし、感染者の多 い地域への移動/同地域からの移入は注意		
1 1-1	【ほぼ日常】	【ほぼ日常】								
1 0-1	【日常】	【日常】 (出入国 制限あり)	【注意】	感染終息	県内に関する行動制限無し	国内の全域 が感染終息	国内に関する行動制限無し 国外との行動制限が一部有り	一部地域におい ては感染が終息 していない		
		【日常】							【日常】	【日常】

(注1) 県が更新・発表する地域の感染状況に応じた県境を跨ぐ移動制限区分に応じて判断

(注2) 基本的感染対策：身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなど

(注3) 感染レベル低位の対策は、より高位のレベルでの対策に含まれる

※ 県内評価の変更点 (令和2年11月)：国の新型コロナウイルス感染症対策分科会 (令和2年8月7日) で示された国警戒ステージ等を踏まえ、感染まん延期を、「前期」・「中期」・「後期」の3段階に分けた。

県内の最新感染動向

新型コロナウイルス感染症が心配なときに

お子様をお持ちの皆様へ

県民の皆様へ

企業の皆様・はたらく皆様へ

静岡県新型コロナウイルス感染症対策本部報

静岡県主催イベント等の延期・中止状況

静岡県公式ホームページ

多言語対応選択メニュー

Lang: 日本語



このサイトの内容は [クリエイティブ・コモンズ表示 4.0 ライセンス](#) の下に提供されています。
 2020 Shizuoka Pref. Government

静岡県内の最新感染動向 最終更新 2020/11/18 19:30

最新のお知らせ

2020/04/17 静岡県からの大切なお願い

2020/04/17 新型コロナウイルス感染症の相談

検査陽性者の状況

陽性者数 (累計)	978 人
入院中	87 人
軽症・中等症	84 人
重症	3 人
宿泊療養	52 人
入院・療養等調整中	90 人
死亡	4 人
退院	745 人

2020/11/18 19:30 更新



陽性患者の属性

978 人

11/18の累計

公表日	居住地	年代	性別	退院※
11/18	静岡市駿河区	40代	男性	
11/18	静岡市駿河区	50代	男性	
11/18	静岡市駿河区	30代	男性	
11/18	静岡市	40代	男性	
11/18	静岡市駿河区	20代	男性	
11/18	静岡市駿河区	30代	男性	

※退院には、死亡退院を含む

オープンデータを入手
2020/11/18 19:30 更新

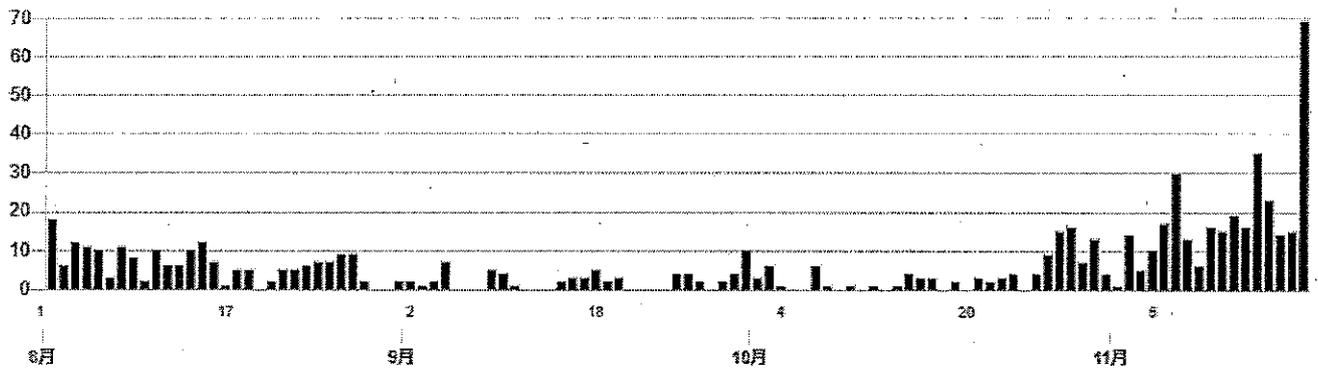


陽性患者数

69 人

11/18 実績値 (前日比: +54 人)

日別 累計



オープンデータを入手
2020/11/18 19:30 更新

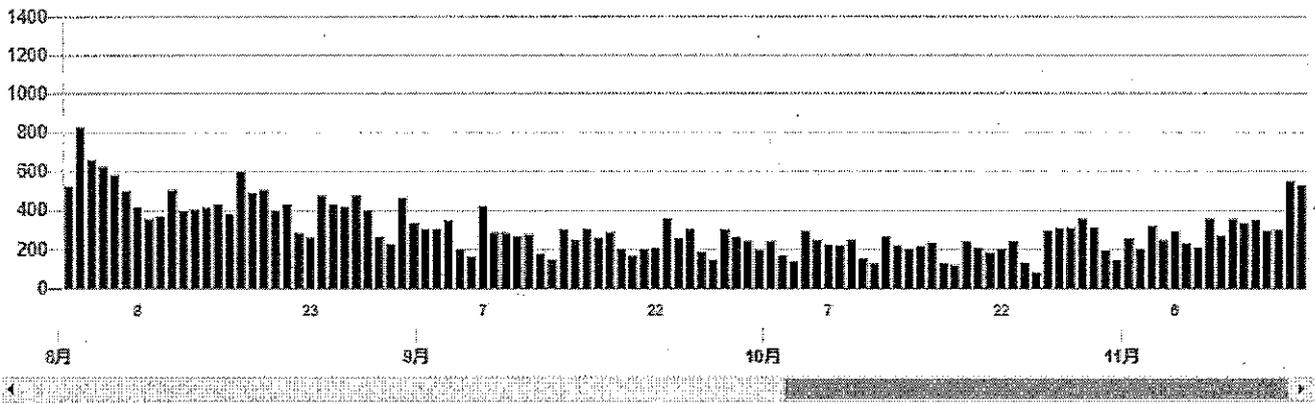


新型コロナ受診相談窓口相談件数

527 件

11/17 実績値 (前日比: -21 件)

日別 累計



オープンデータを入力
 2020/11/18 19:30 更新



検査実施件数

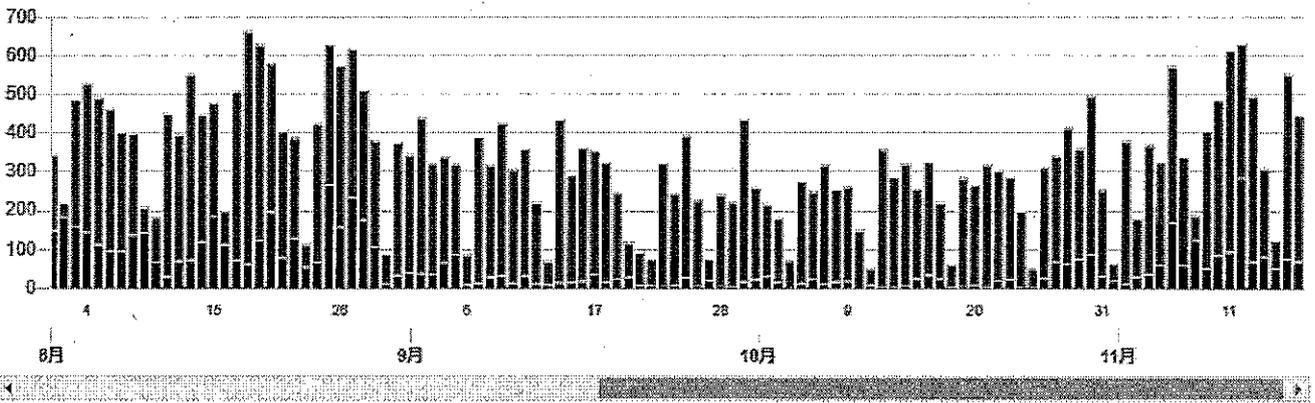
446 件

11/17の合計

- (注) 検査結果の判明日を基準とする
- (注) 同一の対象者について複数の検体を検査する場合あり
- (注) 速報値として公開するものであり、後日確定データとして修正される場合あり

日別 累計

地方衛生研究所が行った検査件数 医療機関等が行った検査件数



オープンデータを入力
 2020/11/18 19:30 更新



《令和2年11月19日作成》

最近の新型コロナウイルス感染症に関すること

☆感染のパターン

○飲食の場、職場等でのクラスター



○家庭等での2次、3次感染

※「気の緩み」と「責任感」が感染拡大をまねている・・・

☆感染しやすい5つの場面

○飲酒を伴う懇親会等

○大人数や長時間におよぶ飲食

○マスクなしでの会話

○狭い空間での共同生活

○仕事から休憩室、喫煙所、更衣室等への居場所の切り替わり

☆今できる対策

◎基本的な衛生管理

○マスク着用の徹底

○手洗いの励行(手指消毒)

○ソーシャルディスタンスの確保

○定期的な換気

◎ガイドラインに従った対応の徹底

☆職員のとるべき行動

◎日常の行動

日常の体調管理(毎日検温)

⇒37.5℃以上の場合は、躊躇わず休暇を取る

(複数日熱が続くようなら、かかりつけ医等に電話で相談)

◎業務上の外出

基本的な衛生管理を意識し、県内出張は可

(県外の出張は、原則不可)

◎外部からの来庁等

基本的な衛生管理を意識し対応する

・対面に座らない(飛沫対策がない場合)

(健康福祉課に移動式アクリルボード有)

・なるべく短時間で済ませる

新型コロナ 感染リスクの高まる5つの場面

1) 飲食を伴う懇親会

- ・飲酒による注意力低下・大声
- ・貸し切り部屋では狭い空間に密
- ・回し飲み、箸の共用



4) 狭い空間での共同生活

- ・長時間の閉鎖空間の共有
- ・寮の部屋やトイレは高リスク



2) 大人数や長時間の飲食

- ・短時間の会食より高リスク
- ・5人以上では大声になりやすい



5) 居場所の切り替わり

- ・休憩に入ったときは気がゆるみがち
- ・休憩室、喫煙所、更衣室は高リスク



3) マスクなしでの会話

- ・マスクなしカラオケは高リスク
- ・車やバスの中での会話も注意



第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会
「5つの場面」に関する分科会から政府への提言 より

感染リスクを下げる会食方法 八か条

飲酒を伴う会食をするなら、

- 1、少しでも体調の悪い人は参加せず
- 2、地元と一緒にいる方と少人数で(4人まで)
- 3、適切に換気されているお店で
- 4、1m以上距離をあけて斜向かいに座り
- 5、箸やコップの使い回しはせずに
- 6、会話や歌唱の際は双方マスク※して
- 7、適切な酒量で(飲みすぎ注意)
- 8、短時間で楽しみましょう(一次会のみ)!

※ フェイス or マウス・シールドは感染防止効果のエビデンスが無い

第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会
「5つの場面」に関する分科会から政府への提言 より一部改変

5つの場面

感染リスクが高まる

に注意しましょう

場面 1 飲食を伴う懇親会等

- 楽しい飲食の時間は、知らず知らずのうちに大きな声になりやすい
- 回し飲みや箸の共用も感染のリスクを高める

場面 2 大人数や長時間に及ぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなる

場面 3 マスクなしでの会話

- マスクなしで近づいて会話することで、飛沫感染のリスクが高まる（昼カラオケなどでの感染事例が確認されている）
- 車やバスなどで移動する際にも注意が必要



場面 4 狭い空間での共同生活

- 寮などの狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる（トイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が確認されている）

場面 5 居場所の移動

- 仕事での休憩時間など、気の緩みや場所の移動にも注意が必要（休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例も確認されている）

息苦しさ

強いだるさ

発熱等の症状がある場合

まずは
電話で
相談

かかりつけ医がいる場合
かかりつけ医に電話

かかりつけ医がない場合

かかりつけ医が
検査ができる医療機関

かかりつけ医が
検査ができない医療機関

発熱等受診相談センターに
電話相談

050-5371-0561 ※24時間対応

疑いがあれば検査

発熱等診療医療機関を紹介され、
疑いがあれば検査

